

## 【山陰インバウンドニュース 2023 年 5 月号】

令和5年5月31日  
 (一社) 山陰インバウンド機構

**関西・中国・四国地域の広域連携 DMO 4 者による連携協定を締結しました！**



5月9日(火)大阪市内のホテルを会場に、広域連携 DMO の4者が連携協定を締結しました。

※それぞれの広域 DMO の担当エリア

- |                  |                                            |
|------------------|--------------------------------------------|
| (一財) 関西観光本部      | : 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県、三重県 |
| (一社) 山陰インバウンド機構  | : 鳥取県、島根県                                  |
| (一社) 四国ツーリズム創造機構 | : 愛媛県、香川県、高知県、徳島県                          |
| (一社) せとうち観光推進機構  | : 兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県              |



歴史的、文化的な繋がりが強い、関西、中国及び四国地域の広域観光を推進するこの4者で連携することで、西日本の多種多様な豊富な観光資源を活用しこれまで以上に魅力ある観光ルートの形成、テーマツーリズムの創出等につなげていく事が期待されます。

これまでの取組みの中で、山陰地域への誘客のためには、山陰だけではなく関西・中国地域全体での広域周遊を働きかける必要性や広域で捉える視点の重要性が挙げられていました。今回の連携協定により関西、中国地域で連携を強め、山陰地域を訪れる外国人観光客最大のゲートウェイである関西国際空港へのアプローチや、より効果的・効率的な海外に向けた観光情報の発信等に取り組んでいきます。

詳しくはこちらをご覧ください

当機構 HP : [https://www.sanin-tourism.com/news\\_dmo/information/10695.html](https://www.sanin-tourism.com/news_dmo/information/10695.html)

共同プレスリリース : <https://prtmes.jp/main/html/rd/p/00000011.000099366.html>

## いよいよ本格始動！山陰の主なインバウンド動向

山陰では新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きに伴い、この春インバウンド受入れにおいても大きな動きがありました。山陰インバウンド復活への幕開けともいえる米子鬼太郎空港でのチャーター便就航と境港の国際クルーズ客船再開についてお伝えします。

### ★チャーター便

米子鬼太郎空港ではコロナ禍後はじめて、3月から4月にかけて台湾と韓国からチャーター便の運航がありました。鳥取県は引き続き定期化に向けて働きかけを続けています。

#### 《台湾便》

台湾の大手旅行会社である鳳凰旅行社によって、3月28日(火)から4月5日(水)まで3往復催行されました。

- ・ 航空会社（機材）：チャイナエアライン（A321neo 座席数 180 席）
- ・ 延べ人数：277 名（搭乗率 77.4%）
- ・ 主な観光コース： 一例 <4泊5日桜をめぐるツアー>

日程	内容	宿泊先
1日目	米子鬼太郎空港着 - 大漁市場なかうら - 水木しげるロード - 由志園 - 宍道湖	鳥根県
2日目	足立美術館 - 松江城公園 - 斐伊川桜並木	鳥根県
3日目	倉吉白壁土蔵群 - 打吹公園 - 二十世紀梨記念館	鳥取県
4日目	青島 - 鳥取砂丘 - 鳥取城跡、久松公園	鳥取県
5日目	とっとり花回廊 - 米子鬼太郎空港	



#### 《韓国便》

韓国の大手旅行会社であるロッテ観光によって、4月9日(日)から28日(金)まで9往復催行されました。一部個人向け旅行商品の販売もありました。

- ・ 航空会社（機材）：エアソウル（A321 座席数 195 席）
- ・ 延べ人数：1,259 名（搭乗率 81.1%）
- ・ 主な観光コース

#### <2泊3日> 一例

日程	内容	宿泊先
1日目	米子鬼太郎空港着 - 水木しげるロード	鳥取県
2日目	砂の美術館、倉吉白壁土蔵群、とっとり花回廊	鳥根県
3日目	堀川遊覧船、松江城、由志園、足立美術館	

#### <3泊4日> 一例

日程	内容	宿泊先
1日目	米子鬼太郎空港着 - 水木しげるロード	鳥取県
2日目	堀川遊覧、松江城、由志園、足立美術館	鳥取県
3日目	倉吉白壁土蔵群、二十世紀梨記念館、砂の美術館、青山剛昌ふるさと館	鳥根県
4日目	とっとり花回廊、鳥根ワイナリー、出雲大社	

### ★国際クルーズ客船

境夢みなとターミナルでは国際クルーズ客船の受入れが再開され、3月22日(水)にコロナ禍後初の国際クルーズ客船となる「ウエステルダム」号が寄港し、欧米からの乗船客およそ1,873名が山陰の春を楽しみました。今年は欧米の乗船客を中心に3月から11月まで約26回の寄港が計画されており、小型船から大型客船まで多様なクルーズ客船が境港に寄港する予定です。今後の詳しい寄港情報は境夢みなとターミナルHPでご確認いただけます。境夢みなとターミナルHP：<https://synt.tottori.jp>



2023年3月22日歓迎セレモニー



2023年4月16日ダイヤモンド・プリンセス寄港

## 来月号より、DAJPに関する情報もお知らせしていきます！



私ども山陰インバウンド機構が開発・運営する「Discover Another Japan Pass」(※以下 DAJP)は2022年6月13日の発売からまもなく一年を迎えようとしています。フリーパス・チケットとも徐々にではありますが利用者数も伸びており、パスの運営を通じて地域活性化を目指す当機構といたしましても改めて DAJP の可能性を感じております。

今後とも DAJP に参画いただいておりますコンテンツ先の皆様や地域の方々に、更に DAJP また機構の取組みを理解していただけるよう私共も日々邁進してまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。

DAJP 主管チーム 田川リーダーより

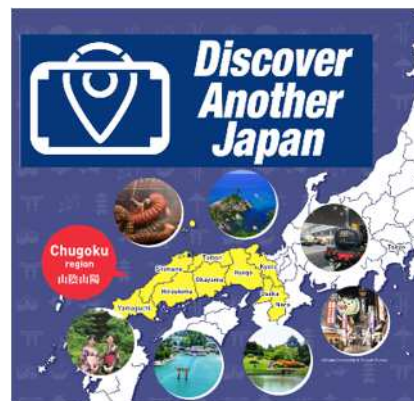


### 外国人観光客の周遊を促進するデジタルパス「DAJP」とは？

山陰インバウンド機構では、関西空港や岡山・広島空港なども山陰へのゲートウェイとしてとらえ、山陰地域のさらなる外国人観光客の宿泊数の増加を目指し、本パスの発売を始めました。6,000円で山陰を満喫する3日間パスを始め、山陰・山陽をめぐる16,000円の7日間パスなど現在6種類を展開。DAJPアプリで本パスを購入した外国人の方々は、お得に山陰・山陽の観光名所を訪れることができます。

アプリ内では山陰・山陽の観光スポット案内はもちろん、Googleマップとも連動し、現在地からの経路検索も楽々。またアプリ上で日本文化等の体験コンテンツの予約もできる上に、レストランやお土産店などで使える特典クーポンも掲載。英語、中国語、韓国語など多言語で展開し、名前のとおり山陰地域をはじめとする、まだ広くは知られていない日本らしさの残る地域の魅力を伝えるアプリとして、様々な国籍の外国人観光客の皆様にご利用いただいています。

島根県50施設、鳥取県28施設、山口県12施設、岡山県13施設、広島県8施設、関西地域5施設で本アプリの利用ができます。(2023年5月現在)



DAJPに参画いただいている施設の皆様をお邪魔して、現地の様子を紹介する等、DAJPに関するアレコレを紹介していく予定です。

DAJPのロゴや利用する外国人観光客の方々の姿が山陰各地の観光施設で多く見られる状況を目指し、引き続き取り組んでいきます！

### 観光関連統計等

山陰への訪日外国人延べ宿泊者数※観光庁宿泊旅行統計調査(従業員10人未満の施設を含む)

期間	山陰への訪日外国人宿泊者数(鳥取/島根)	比較
2023年2月	3,930人泊 (鳥取2,470人/島根1,460人)	(2022年2月)1,270人泊 (2021年2月)1,750人泊※
【参考】日本全体の現状(2023年2月) (速報値)	5,929,850人泊 ※観光庁宿泊旅行統計調査 <a href="https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryoutoukei/shukuhakutoukei.html">https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryoutoukei/shukuhakutoukei.html</a>	(2022年2月)205,390人泊 (2021年2月)208,690人泊※

※確定値

来月は6月21日(水)米子市内で開催!

## インバウンドセミナーのご案内

当機構ではアフターコロナにおける新たな観光施策について、地域の皆様とともに学び、実施していきたいという思いより、インバウンド事業の追い風となるよう定期的にセミナーを開催しています。

この度、観光庁観光地域振興部地域づくり法人支援室の大塚室長をお迎えし、下記のとおりセミナーを開催することが決定しましたのでご案内いたします。

日時：令和5年6月21日(水) 15時～16時30分

場所：米子コンベンションセンター

2階 国際会議室(米子市末広町294)

講師：観光庁観光地域振興部地域づくり法人支援室長

大塚久司(おおつかひさし)氏

演題：(仮)「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン(令和5年4月3日改正)」について  
～主な改正のポイント～など



令和2年4月に策定された観光地域づくり法人の役割や取組内容を具体的に解説する「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン～観光地域づくり法人を核とする観光地域づくりに向けて～」が今年3月31日の観光立国推進基本計画が閣議決定されたこと等を踏まえ改正・施行されたため、主な改正のポイントなどについてご講演いただきます。

本セミナーを今後のインバウンド施策の一助にさせていただきたいと考えております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

○当日、会場で受講いただけます。

下記URL(当機構HP)よりお申込みください。

[https://www.sanin-tourism.com/news\\_dmo/10830.html](https://www.sanin-tourism.com/news_dmo/10830.html)